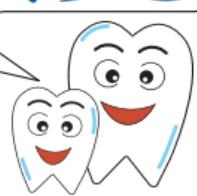




木村 匡司

# 知らなきゃ損する 歯のはなし

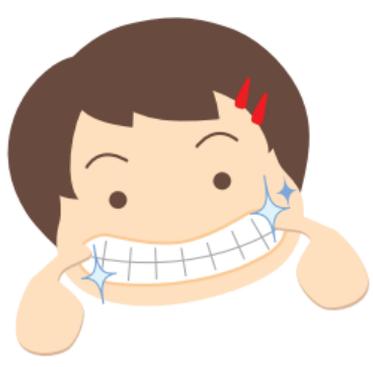
羽生市木村歯科医院HPにて  
バックナンバー掲載中!!



## ⑦4 噛み合わせシリーズ(3)

前回、食いしばりや歯の噛み合わせを治療する装置の話をしました。皆様から多くのお声が寄せられ、悩んでいる方の多さにビックリしています。普通段の生活や仕事でのストレスを無くす治療は私たちにはお手伝いは難しいと思っっています。しかし、今までの歯科治療により噛み合わせが変わってしまっている場合は、大がかりになるかと思えますが元の噛み合わせに戻す治療をしなければならぬと思えます。今までの治療の多くは、痛くなった所や困っている所のみを治療して終わりと云う事の繰り返しだったようです。全体的な噛み合わせなどは検査されずに、困っている

部分だけの治療だったのです。しかも治療で金属を詰めたり被せたりした後、しばらく噛み合わせが高く感じていたとしても、先生が「慣れるから大丈夫」などと言う治療もあったようです。そして歯並びの治療(矯正治療)も保険がきかないからという事で、お金がかかる美容的なせいで治療だからしなくても良いように扱われていました。ヨーロッパやアメリカでは、歯並びの治療は当たり前です。歯並びを治さないという事は、磨き残しも出ますし虫歯になるのは当たり前と言う考えです。また、歯並びは姿勢にも大きく関わります。北欧の家具はすばらしいという事を良く聞きますが、ヨーロッパのイスなどはデザインだけでなく人間工学的にも優れていて、姿勢の文化がある



り学校でも姿勢の時間があるという事です。歯並びは成長期の姿勢も大きく関与しているのです。私の考えでは、食いしばりはストレスだけが原因では無く、歯並びや噛み合わせが悪い事を生体が無意識のうちに修正しようとして、歯をすり減らしているのではないかと考えています。

いずれにせよ紙一枚噛んでも厚みを感じる「歯」の噛み合わせはしっかりと治療してもらいましょう。  
☎0120・255・418